



【令和元年度第2回心突然死対策講習】

令和元年9月28日

9月28日（土）自衛隊札幌病院は、副院長の菊池将補を担任官として、第7師団、第11旅団、北部方面衛生隊の支援を受け、今年度2回目の日本救急医学会ICLS（医療従事者のための蘇生トレーニング）を開催した。

本講習は、「突然の心停止に対する最初の10分間の適切なチーム蘇生を修得すること」を目標として、認定コースディレクターの本間2佐（小児科医官）以下指導要員15名が、医師、看護師、准看護師、救急救命士等、院内及び各部隊等の受講生12名に対し、「心肺停止の認識と対処行動」「BLS（一次救命処置）」「AED（自動体外式除細動器）の安全操作」「心停止時の4つの心電図波形診断」「状況と各自の技能に応じた気道管理法の選択・実施及び確実な気道確保」など実技を主体とした体験型のシミュレーションにより指導を行い、心肺蘇生法、心突然死対処等に関する能力の維持向上を図ることができた。



訓練開始式・担任官訓示



心電図波形の確認



チームでの蘇生処置



一次救命処置



気道の確保



胸骨圧迫